



第5回 飯田市地域史研究集会を開催します

今年の研究集会は、飯田市制施行70周年記念事業の一環として、3日間にわたって開催します。「地域の歴史をひらく」をテーマに、板垣雄三さんの講演を中心にシンポジウムを行います。

2007
8/24(金)
～26(日)

りんご庁舎3階会議室	24日(金) 研究員会議 詳しくは2面をご覧ください。 9:00～12:00
	ラウンドテーブル 詳しくは2面をご覧ください。 13:30 セッション1 地域史の方法 17:10 セッション2 学校と地域
飯田信用金庫本店2階 大会議室	25日(土) 9:00 セッション3 生活世界と地域 12:30 セッション4 地球規模化
	シンポジウム 地域の歴史をひらく 13:00 開場 13:30 歴研賞授賞式・あいさつ 14:00 記念講演 板垣雄三 (東京大学名誉教授) 「組み換え自在の(地域)を生きる」 15:00 報告 原 董(前・飯田下伊那地域研究団体連絡協議会会長) 「地研連の活動から―「伊那谷学」提唱と地域再発見―」 16:10 コメント 石井規衛 (東京大学教授) 田中雅孝 (飯田市歴史研究所調査研究員) 17:00 閉会
大会議室	26日(日) 研究報告会 (各報告とも質疑応答あわせて45分間) 9:30 《午前の部》 ○下伊那地方におけるミチューリン農法の受容と衰退 壬生 雅穂(飯田市歴史研究所近現代史ゼミナール) ○50年経たお蚕さまのお家 金澤 雄記(飯田市歴史研究所研究員) ○わが町の温泉「かじかの湯」 阿南町立富草小学校5年生 11:30 休憩・昼食 13:30 《午後の部》 ○清内路村下区有文書について 武部 愛子(東京大学大学院) ○飯田の講談師 竹村浪の人 ―敗戦と大火で荒廃した郷土に光を― 吉澤 真紀(飯田市立図書館) ○日本美術院の歴史画 ―特別展「絵画のなかの物語」より― 小島 淳(飯田市美術博物館学芸員) ○1920年代の飯田下伊那の経済状況 ―生産と消費の側面から― 鬼塚 博(飯田市歴史研究所研究員) 16:30 閉会

シンポジウム・研究報告会の会場では、さまざまな催しを行います。講演や報告の合間にお楽しみください。

- ・ミニコンサート
- ・書籍販売
- ・アートパフォーマンス

シンポジウム講師
板垣雄三さん



1931年、東京生まれ。東京大学名誉教授・東京経済大学名誉教授。専門は中東イスラム研究。2003年文化功労者。著書に『イスラーム誤認』(岩波書店、2003)、『歴史の現在と地域学』(岩波書店、1992)、『石の叫びに耳を澄ます』(平凡社、1992)などがある。

参加費 500円 (3日間、資料代)
高校生以下無料

会場

▼研究員会議・ラウンドテーブル
りんご庁舎3階会議室

▼シンポジウム・研究報告会
飯田信用金庫本店2階大会議室

主催 飯田市
飯田市教育委員会
歴史研究所・美術博物館・図書館

※駐車場のスペースに限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

問い合わせ

飯田市歴史研究所
0265-53-4670

会場への出入りは自由です。興味のある報告のみ参加することも可能です。

研究員会議を公開します

歴史研究所が開所して5年目にあたる今年、研究スタッフが一堂に会してこれまでの諸活動をふりかえり、中長期的視点から、今後の研究・事業計画について話し合う、とても重要な会議です。興味のある方はどなたでも傍聴することができます。事前のお申し込みは不要ですので、お気軽にご参加ください。

- ▼日時 8月24日(金) 9:00～正午
- ▼会場 りんご庁舎 3階会議室
- ▼議題
 - 研究員らによる研究計画の発表、検討
 - 研究所のこれまでの活動の自己評価について
 - 今後5年間の中期的計画について

研究集会 ラウンドテーブル

まず研究所スタッフらが具体的事例に基づき、約30分間の報告を行います。それについてのコメントを受け、地域史研究のあり方についてフロアで約60分間議論をします。円卓形式で率直な意見交換を行いたいと思います。

- ▼日時 8月24日(金) 13:30～17:10
25日(土) 9:00～12:30
- ▼会場 りんご庁舎 3階会議室

セッション1 地域史の方法

- 報告 多和田 雅保 (研究員)
「近世の上飯田村を知る—課題と方法—」
- コメント 塚田 孝 (大阪市立大学教授)

セッション2 学校と地域

- 報告 多和田 真理子 (調査研究員)
「村の小学校と地域—明治期座光寺の事例から—」
- コメント 塩澤 哲夫 (座光寺小学校校長)

セッション3 生活世界と地域

- 報告 伊坪 俊雄 (歴研近現代史ゼミナール)
「聞き書きにみる飯田町のくらし」
- コメント 大槻 守 (兵庫県香寺町史編纂室長)
町田 哲 (飯田市歴史研究所客員研究員)
鳴門教育大学准教授

セッション4 地球規模化

- 報告 本島 和人 (調査研究員)
「人口移動からみた飯田下伊那の150年」
- コメント 南塚 信吾 (法政大学教授)
(コメントーターが変更になりました。)

飯田アカデミア2007

飯田アカデミアは、大学の専門課程レベルの講座です。毎回歴史学を中心とした専門研究者を講師に、研究の最前線を分かりやすく講義します。

第37講座 11月24日(土)・25日(日)

齊明朝の歴史的意義

講師: 柴原永遠男さん (大阪市立大学教授)

齊明女帝は、大規模な土木工事を強行して不評を買ひ、蝦夷・粛慎を攻撃させ、百済救援軍を派遣するため自ら九州に行き、そこで死にました。このような齊明女帝の理解に苦しむ行動の背後にあった必然性を明らかにしたいと思います。

第39講座 1月19日(土)・20日(日)

世界経済の中での農業保護政策

講師: 森 建資さん (東京大学教授)

農業の保護と自由貿易は両立するものなのでしょうか。この問題を考える手掛かりをイギリスや日本の歴史の中に探りたいと思います。

第38講座 12月15日(土)・16日(日)

フランス革命に刻まれた民衆の思い

講師: 近江吉明さん (専修大学教授)

フランス革命期の民衆が求めた願いは、教科書版仏革命像からは想像できないほど多様でした。パリではなく、ノルマンディー地方・オルヌ県の農民や都市民の動きを追いかけ、その実相に迫ります。

第40講座 3月15日(土)・16日(日)

近代日本思想と東アジア

講師: 米谷匡史さん (東京外国語大学准教授)

近代日本の思想は、東アジア(主に中国・朝鮮・台湾)といかに関わってきたのでしょうか。自由民権論・啓蒙思想、大正デモクラシー、社会主義などをとりあげながら考えます。

- 時間 1日目(土) 13:30～17:00
2日目(日) 10:00～14:30
※90分の講義を4回、2日間にわたって行います。
- 募集人員 各講座30人
- 受講料 資料代として500円(2日間分)

- 申込み 電話、ファクシミリまたはEメールで、歴史研究所へお申し込みください。
※ファクシミリまたはEメールでお申し込みの場合は、住所・氏名・電話番号を明記して下さい。
- ※2日目の昼休みには、講師を囲んでの昼食交流会を行います(会費1000円)。

「歴史」はそこにある

農業技術史を学ぶ上で、実際に農業をやっていることはプラスになると感じています。

先日、農協の養蜂部会主催の潮干狩りに行きました。そのマイクロバスの中で「はい、Kさん」と、隣の人たちの話し声が聞えてきました。Kさん?わたしがライフワークで調べている、戦後のミチューリン農法関係者と同じ名前です。声をかけてみるとまさにご本人でした。まだご健在とは知りませんでした。おかげで50年以上も前の話をナマで聞けたのです。

このほかヤギ部会に行っても、農業委員の会合に

壬生雅穂さん（歴研近現代史ゼミ・豊丘村）

出ても、やはりミチューリン農法関係者の方がまだお元気であるという情報をいくつも得ることができました。

当事者の話というのは主観が入ったり、明らかな記憶違いもあつたりで鵜呑みにはできませんが、とても貴重なものです。

歴史、とくに近現代史は決して書物や遺跡に埋もれているものではなく、今でも身のまわりに存在し、直接触れることが出来るものだと実感しました。



リレーエッセイ

子どもの遊びを考える 田嶋 一

歴史研究所顧問研究員
國學院大學教授

最近では小さい子から大きい子まで入り交じって群れになって遊んでいる風景を見かけることが少なくなりました。私たちの子どもの頃（高度経済成長期以前）は子どもたちは学校から帰ると靴も脱がずにカバンを家に投げ込んでいつもの広場に走っていったものでした。そこにはもうたくさんの子子どもたちが集まっていて、いろいろな遊びをしていました。日によって鬼ごっこだったりかくれんぼだったり缶蹴りだったり、女の子たちが中心の日は縄跳びやまりつき、小さい子が多いときはかごめかごめや花いちもんめ。男の子が多いときは陣取り遊びやすもう、かけっこ、三角ベース。男の子と女の子が混じったり分かれたり小さい子を入れたり別にしたり、その日の集まり具合によって子どもたちは自由自在に遊びを組み立てていたものでした。子どもたちは夕暮れ時まで精一杯遊び、さよならの決まり文句を掛け合って解散しました。

このような地域の子どもの遊び集団は、一般に子ども組とよばれて、どこの地域にもあったようです。子ども組は平素は遊び仲間ですが、どんど焼きとか三九郎とか呼ばれる正月の祭りや虫送りの行事に際し

ては祭祀集団として重要な役割を担っていました。伝統的な子どもの遊び集団がおおかた姿を消してしまった現在から振り返ってみますと、子どもたちの遊び集団は子どもの心身の成長発達にきわめて重要な役割を果たしていたようです。子どもたちは楽しみながら体を鍛え社会性や協調性、コミュニケーション能力を身につけ、年長の子子どもたちは小さいものたちを保護し指導する力や知恵をつけ、小さい子はみそっかすなどとよばれて保護されているうちに、いつの間にか他の子どもたちと一緒に遊べるだけの力を身につけたものでした。

このような子ども社会独特の伝統文化が失われるのはなんとしても残念な気がします。子どもたちが夢中になって遊んでいるうちに、いつの間にか子どもたちの心も体も成長させてしまうような子ども同士の関係性、そしてまた大人たちはそれを見守ってやる立場に徹しているというような大人と子どもの関係性のあり方について、改めて考えてみる必要があります。子どもたちがゲーム機に熱中している姿を見るたびにそんなことを思います。

歴研ゼミだより

6月・7月の内容

参加者のみなさんと一緒に歴史の研究を行い、研究方法を学んでいただくための講座です。

近世史ゼミ 近世下伊那の民衆生活史	近現代史ゼミ 地域社会史入門－飯田町の記憶を探る－	現代史ゼミ（英語文献講読） 地域社会とグローバリゼーション
<p>■開催日 隔週火曜日</p> <p>■時 間 午後7時～8時40分</p> <p>■担 当 多和田雅保(研究員)</p> <p>6月5日 木地師と村の山論(阿南町)</p> <p>6月19日 三ツ井争論2(上郷)</p> <p>7月3日 本学神社遷宮祭式につき礼状(高森町)</p> <p>7月17日 槻ノ木渡(龍江・川路)</p>	<p>■開催日 隔週木曜日</p> <p>■時 間 午後7時～8時40分</p> <p>■担 当 田中雅孝(調査研究員)</p> <p>6月14日 聞き書き研究計画／読書会『忘れられた日本人』／胡桃沢日記研究計画</p> <p>6月28日 同上</p> <p>7月12日 研究集会伊坪報告「聞き書き集・飯田町の暮らし」の検討</p> <p>7月26日 聞き書き研究計画／読書会『忘れられた日本人』</p>	<p>■開催日 隔週水曜日</p> <p>■時 間 午後7時～8時40分</p> <p>■担 当 鬼塚 博(研究員)</p> <p>6月13日 Class Conflict and Cultural Consensus 3</p> <p>7月11日 Class Conflict and Cultural Consensus 4</p>
<p>※各ゼミでは随時受講生を受け入れています。ゼミの日程は4頁催事スケジュールをご覧ください。</p>		



『飯田市歴史研究所年報⑤』

第4回飯田市地域史研究集会シンポジウム「歴史のなかの町並みと建造物」の記録や、地域史研究の成果を多数収録しています。

B5判 232頁 定価1,300円
飯田市歴史研究所 編
2007年8月発行

【内 容】

- シンポジウム 歴史のなかの町並みと建造物
- 論文 ・「満洲」農業移民の社会的基盤と家族
・それからの羽生三七
- 講演 信州の村々と古島史学1
- 小特集・地域論の現在2
- 歴史的建造物調査
塩澤家住宅・宮井家住宅・犬塚家住宅・五十君
酒店・柏心寺・阿羅多堂・信陽館貯蔵庫
ほか

販売所 歴史研究所、市役所行政資料コーナー、市内書店
(郵送希望の方は、実費にて承ります。)

問い合わせ 飯田市歴史研究所
☎0265-53-4670

歴研日誌

6月

- 5日 近世史ゼミ
- 8日 歴史的建造物調査(本棟造)
- 10日 「モーニングウォーク」ガイド(金澤研究員)
- 12日 長野県史料協総会・研修会参加(南木曾町)
- 13日 現代史ゼミ
- 14日 近現代史ゼミ
- 15日 歴研地域史講座③
- 19日 近世史ゼミ
- 20日 岡島旭家(上郷別府)史料調査
- 22日 追手町小学校史料調査・市行政文書の移管開始(~7/10)
- 22~23日 歴史的建造物調査(本棟造)
- 23~24日 飯田アカデミア第35講座「地域の蘭学と飯田の文化」
(講師青木歳幸さん・佐賀大学教授)
- 26日 歴史的建造物調査(本棟造)
- 28日 座光寺麻績史料館所蔵史料調査・座光寺小学校史料調査・
近現代史ゼミ
- 30日 月例研究会

7月

- 3日 近世史ゼミ
- 3~4日 歴史的建造物調査(本棟造)
- 5日 旭ヶ丘中学校生徒職場体験実習・ドイツウルム市交流職員へのガイダンス、視察
- 6日 松澤卓治家(宮の前)史料所在調査
- 6~8日 旧南信濃村文書調査
- 10日 愛宕町自治会長聞き取り調査・座光寺小学校史料調査
- 11日 現代史ゼミ
- 12日 熊谷栄夫さん(愛宕町)聞き取り調査・座光寺麻績史料館所蔵史料調査・近現代史ゼミ
- 13日 歴研地域史講座④
- 17日 宮脇邦彦さん(白山町)聞き取り調査・近世史ゼミ
- 17日~20日 武蔵高校史料調査実習
- 18日 羽場まちづくり委員会会長聞き取り調査
- 20日 歴史的建造物調査(本棟造)
- 21~22日 飯田アカデミア第36講座「日本社会と相撲」(講師新田一郎さん・東京大学教授)
- 24日 外部評価指針及び外部評価委員委嘱決定
- 24~25日 柳沢・一本木上郷開拓団聞き取り調査(岩手県)
- 24~26日 緑ヶ丘中学校生徒職場体験実習
- 26日 座光寺麻績史料館所蔵史料調査・近現代史ゼミ
- 26~27日 歴史的建造物調査(本棟造)
- 28日 読書会『歴史の現在と地域学』(板垣雄三著)

■継続調査 森本信正氏所蔵史料・下殿岡区有文書・市瀬繁文書・岡田昭夫氏所蔵史料・上久堅小学校移管史料

8月・9月の催事スケジュール

8月	2007	9月
水	1	土
木	2	日
金	3	月
土	4	火 近世史ゼミ
日	5	水
月	6	木
火	7	金
水	8	土
木	9	日
金	10	月
土	11	火
日	12	水 現代史ゼミ
月	13	木 近現代史ゼミ
火	14	金
水	15	土
木	16	日
金	17	月
土	18	火 近世史ゼミ
日	19	水
月	20	木
火	21	金 近世史ゼミ
水	22	土
木	23	日 近現代史ゼミ
金	24	月 研究員会議/研究集会
土	25	火 研究集会
日	26	水 現代史ゼミ
月	27	木 近現代史ゼミ
火	28	金
水	29	土 現代史ゼミ
木	30	日
金	31	

開所日 開所時間 午前9時~午後5時
休所日 日曜日、月曜日、祝日、
12月29日~1月3日